

西南学院小学校 学校長メッセージ

「学校通信 Wings 2023 年 9 月号」

わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当に私の弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。

(ヨハネによる福音書 8 章 31～32 節)

二学期の学校生活がはじまり、子どもたちの元気な声とともに、夏休みに格闘した宿題や自由課題の作品も目にすることができるようになりました。(作品展は、9 月 1 日～15 日まで)

保護者の皆様のご支援にも感謝いたします。一人でチャレンジということが子どもたち自身の大きな力になることはもちろんのことですが、おうちの方に尋ねながら、おうちの方に一緒に関わっていただきながらというなかで生まれた作品にも、おうちの方との大事な時間が刻み込まれた良い作品になっているのではないかと私は思っています。一つひとつの作品をじっくり見ながら、子どもたちの過ごした夏休みを想像してみたいと思います。

夏休みに入る前に、何人かの高学年の子どもたちから「長文の読み取りが苦手です。どうしたら読解力がつきますか。」という質問がありました。高学年になると実力テストや課題テストといったものが行われるのですが、新たに読む長文を元にした問題が難しく苦戦しているということでした。

国語は、急激にできるようになることは難しく、日々努力を重ねていくことが大事です。でも、この夏休みに出された問題でいえば、まず問題の長文に書かれている大切なことはなにかを短くまとめて書く(要旨を書く)ことを続けてやってみてはどうでしょうとこたえました。設問は、書かれている長文の大切なことを読み取れているかどうか知るためのものだから、書かれている大切なことが何かよく分かっていたら問いにこたえるのは、難しくなくなると思うよと伝えました。また、大切なことをまとめて書くということには、大切なことを掴むことができるようになるだけではなく、よく考えることをしないと書くことはできないので「考える力」もつくんですよということも合わせて話していました。伝えたことを夏休みの間に実行した子どもたちが、要旨を記したノートを見せてくれました。きつかったと思うのですが、「考えて書く」ということに合わせて「続ける」ということもできているようでした。着実に力をつけていることがそのノートからも感じられました。様々な学習活動の中で、「考えて書く」ということを、低学年の時から続けていけるようにと願っています。

「自分の学習方法を見直す」～課題テストの結果から～

夏休みにみなさんが取り組んだ学習のノートを一つ一つ見させてもらいました。問題を解いて、そのやり直しをする。言葉でいうと簡単ですが、人によって取り組み方がこんなに違うんだと感じました。(中略)

課題テストの採点をした後に、宿題を見てあることに気が付きました。問題集の書き込みで間違っているところがあり、そのやり直しをしている人ほど課題テストの点数が高いのです。

(中略)本来であれば、最初から〇がついている人ほど、テストの結果は良いはずですが。比べてみると分かりました。(中略)少しでも違っていたら、「どこがちがうんだろう」「なぜこの答えではだめなんだろう」と考えて、やり直しをすることが「学ぶ」という活動になります。(中略)こういった努力なしに結果はついてきません。

(6 年生の通信より)

六年生の先生からも、力がつくための学習のヒントとなるような報告が届いたので紹介します。

まだまだ暑い日が続きそうですが、二学期は子どもたち同士の関係づくりにおいても、学びを深めていくことにおいても、落ち着いてじっくりと取り組んでいくことができる時です。

学級通信・学年通信だけではなく、学校通信WINGSでも保護者の方に学校での子どもたちの様子や教職員の仕事がよく伝わる場となるようにしていきたいと考えています。これまでも学校からの通信には目を通してくださっていることだと思いますが、今まで以上に子どもたちのより良い成長のための情報共有の場としていきたいと考えています。

今年度は子どもたちの夏休みは長くなりましたが、子どもたちがお休みの間、教職員は会議や授業の準備、研修会や修養会への参加、そして今後の西南学院小学校をどのように進化させていくか等じっくり考える時を持つことができました。報告も含めてこちらも今後紹介させていただこうと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

(文責 黒木佐幸)